（様式２）

一次提案申請書

**１．技術シーズの内容**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術シーズの名称 |  | | | | |
| 技術の 内容・特徴 | * これまでに得られている研究成果について、図表等の実験データ(別添可)とともに定量的・具体的に記載 * 本技術シーズが属する技術の背景や動向を踏まえ、現状の問題点や特徴（独創性、新規性）等について記載 * 特許化によらないノウハウやソフトウェア等に関する技術の場合は、その詳細について記載 | | | | |
| 発明（周辺特許を含む） | 発明の名称 | 出願番号・特許番号 | 発明者 | 出願人 | 出願日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 当該技術シーズに関する企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況 | * 当該技術シーズに関して、既に企業との共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載 | | | | |

**２．技術シーズの革新性・優位性**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 技術の 革新性 | * 当該技術シーズの有する革新性について、既存技術や既存マーケットとの比較優位ではなく、技術シーズの有する潜在的価値や可能性、機能、社会に与えるインパクト等について記載 | |
|  | 提案課題 | 競合する類似研究・先行技術 |
| 技術の 優位性 | ※当該技術シーズについて、右先行類似技術と比較した時、どのような点に優位性があるのか、具体的に記載 | ※比較対象となる研究内容、又は先行技術の文献・特許等の公開情報に関する内容を記載（ただし、直接的に比較できる対象がない場合は記載不要。） |
| 研究開発の優位性 | ※右先行類似研究・先行技術に対する優位性を記載 | ※類似研究・先行技術はどのようにして開発を進めようとしているのか、またその進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で記載 |

**３．外部環境及び技術シーズの有用性及び想定される製品・サービスの市場規模とポテンシャル**

|  |  |
| --- | --- |
| 社会的背景（外部環境）を踏まえた技術の有用性・可能性 | * 経済・市場動向や人口動態の変化、社会的意識の変化、世論の動向、技術革新、特許・規格・知財権の国際的動向等の外部環境を踏まえ、当該技術シーズの重要性や、有用性・可能性について記載 |
| 技術シーズから想定される製品・サービスの内容、市場規模とポテンシャル | * 応用分野において想定される用途や人々の生活において想定される使用機会、グローバル市場への展開可能性等について記載 * 応用分野については、当該技術シーズの有する可能性について幅広く記載 * 特に、当該技術シーズが社会にもたらし得るインパクト、変革の可能性について幅広く記載 * 想定される製品・サービスの内容と、想定される市場（潜在市場）の大きさなどを記載 * 企業からの問い合わせ等、市場からの反応などをできる限り具体的に記載 |

**４．研究開発計画**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発目標、事業化に向けて想定される研究開発課題 | * 当該技術の有する革新性を踏まえて、研究開発目標や研究開発課題、研究開発構想（研究開発内容とその期間・規模等）について具体的に記載 |
| 課題解決のためのマイルストン | * 目標とする出口までの研究開発スピード（マイルストン）について、可能な限り具体的に記載 * 特に、現在の研究開発段階がどこにあるかを明確に記載 |
| 研究開発課題のうち、本事業にて解決が見込まれるものと解決の方法 | * 本事業の補助金を活用して、上記のうちどの研究開発課題を解決するかを具体的に記載 * その解決の方法（例えば、POC : Proof of Conceptを実施するなど）を可能な限り具体的に記載 * 本事業後終了後に、上記の（本事業による）研究開発課題の解決によって、どのように民間資金による自律的事業展開が見込まれるかを記載 |

※　別途、当該技術シーズに関する補足説明資料（パワーポイント10ページ以内）がある場合は、添付可能。